つるせ 公民館だより 第500号

鶴瀬公民館マスコットキャラクター『つるちゃん』

２０２２（令和４）．１０．１
１０月号
編集　つるせ公民館だより編集委員会
発行　鶴瀬公民館 富士見市羽沢3-23-10
Tel 049-251-1140　Fax 049-251-1156

七人の市職員（公民館事務室）

わがまち点描 131

人口10万人以上の自治体では市の職員は住民の顔を覚える余裕がないそう。住民と直接関わったとしても一期一会の関係になるらしい。

鶴瀬公民館には七人の職員さんがいて、窓口業務や電話対応、書類作成の他、投票所や災害時の対策、各種イベントの裏方などをこなし、多岐にわたる地域住民の要望に応えてくれている。

編集委員会では、毎回資料を用意して頂いて会議で出た有象無象な内容を形にして貰っている。他の活動でも担当職員さんの声掛けや手助けに感謝する話を耳にする。

公民館は、市民が組織や集団から離れたあとでも地域で顔のわかる関係を築ける、名前を覚えて呼んで貰える、人と人とが交流出来る心の拠り所となる場所なのだなと思う。

（編集委員　黒澤）

※前号２面でお知らせした10月のサークル活動公開月間は新型コロナウイルス感染防止のため中止になりました。ご了承ください。

公民館の利用について

★**１月利用分**については、
①抽選のための申込期間　10／15(土)～31(月)
②抽選日（自動抽選）　11／１(火)
③抽選結果の確認期間　11／２(水)～６(日)
④窓口受付開始日　11／７(月) ９：00～
（抽選当選分の本申請と新規受付）
⑤システムによる仮予約受付開始日　11／８(火)
★ホールの一斉受付日
４月利用分　10／５(水) 10：00～

★休館日　10／17（月）
くわしくは職員にお問合せください。

げんもりかん映画会
「タクシー運転手　約束は海を越えて」

とき　**10／29(土)** 10:00・14:00・18:00
（いずれも30分前に開場）
場所　鶴瀬コミュニティセンターホール
参加費　前売券800円（当日券1,000円）
チケットは鶴瀬公民館で販売中
（平日9:00～17:00）。電話予約も可。

韓国現代史上、最大の悲劇となった光州事件。その真実を追い求めたドイツ人記者と、彼を乗せたタクシー運転手がいた。実在した2人をリアルに描くことで、光州事件を紐解いていく。

つるせ公民館だより掲載の公民館事業等は、新型コロナウイルスの感染状況により、中止または延期する場合があります。くわしくはお問い合わせください。鶴瀬公民館(電話049-251-1140)

子育てサロン

0歳児から就園前の乳幼児とその保護者が対象です。
※37.5度以上の発熱、咳、鼻水の症状のある場合は参加をお控えください。

★親子はーとふるTime(申込不要)
親子で遊べるスペースです。手遊び、紙芝居もします。サポーターママが待っています。０歳児のママもお気軽に。
とき　**10／７・14**(いずれも金曜日)10:30～11:45
場所　いきいき活動室
定員　親子８組程度

★げんきっこTime（申込不要）
親子一緒に手遊び、簡単な工作などをします。
とき　**10／11(火)**10:30～11:30
場所　体育室
内容　ミニミニ運動会
対象　１才以上の子どもと保護者
指導　小林礼子さん

★おかあさんのステップアップ講座（要申込・保育付）

1.「子どもの成長にあった言葉かけ」
子どもの心身の発達や、いやいや期などの困った時の対応を学びましょう。親子で楽しめる手遊びなども行います。
とき　**10／21**(金) 10:00～12:00
場所　第３集会室
講師　市立第３保育所　保育士
定員　10名（保育10名）
申込み　10／3(月)から窓口または電話で（平日9:00～17:00）

2.「子育て世代のライフマネー講座」
生活設計に欠かせない教育資金・マイホーム資金・老後の生活資金などお金についての知識や情報を学びましょう。
とき　**10／28(金)** 10:30～12:00
場所　第３集会室
講師　埼玉県金融広報アドバイザー　本岡藤栄氏
定員　20名（保育10名）
申込み　10／3(月)から窓口または電話で（平日9:00～17:00）

高齢者サロン

場所　いきいき活動室

お体に不安のある方、友達のほしい方、お気軽にお越しください。

★**ひだまりほっとたいむ**（すべて木曜日）
とき　**10／6・13・20**（すべて13:30～15:00）
★**ホッと安心健康相談**（無料）
血圧測定や保健師の相談コーナーがあります。
とき　**10／13**（木）13:30～15:00
★**いきいきたいむ**　（無料）
♪**うたごえサロン**（すべて火曜日、13:30～15:00）
とき　**10／4・11・18**
定員　17名
♪**おしゃべりサロン**（すべて水曜日、13:30～15:30）
とき　**10／5・12・19・26**

健康スマイル講座（無料）

～イムス富士見総合病院の専門家に学ぶ～
とき　**10／27（木）** 10:00～12:00
場所　いきいき活動室
内容　散歩のすすめ
講師　リハビリテーション科
定員　20名（先着順）
申込み　受付中。窓口または電話で（平日9:00～17:00）

♪コミセンホール通信♪

◆富士見オータムコンサート　（無料）
クラシックとポップスの共演！
とき　10／16(日) 14:00開演(13:30開場)
出演　高橋裕紀（ひろき）（音楽監督）、富士見チェンバーアンサンブル、音楽ボランティアしゃぼん玉、プチカドゥ
問合せ　090-4914-6676(矢木)
◆神定れい子コンサート　（無料）
とき　10／26(水) 14:00開演(13:30開場)

編集委員雑感

記念すべき「つるせ公民館だより５００号」に携われたことに幸せを感じます。１９７６年から46年間と長く続けて来られたのは、先輩編集委員の方々と読んでくださる皆様のお陰かと思います。

私は編集委員になって、やっと一年がすぎたところです。

編集会議では先輩方のお話や文章がとても勉強になり、刺激を受けています。また、知識を得られることに喜びを感じ、楽しく活動しています。

子育てサロンのサポーターも務めていて、サポーター定例会でコロナ禍での生活の変化を近況報告しました。その後、公民館だよりで「コロナ禍での新しい生活」の特集記事へ執筆の依頼を受けたのが「ご縁」で編集委員となりました。

取材や原稿執筆は初めての経験で、取材を通して新しい出会いや体験にワクワクした気持ちで楽しんでいます。

分かりやすく親しんでいただける様な「たより」をお届けできたらと思っています。

興味のある方、ご一緒にいかがですか。（若山）

私の好きなコーナー

編集委員　新井ミカ（今年6月から新しく編集委員になりました）

私の好きなコーナー。それは「わがまち点描」と「編集委員雑感」です。縁もゆかりもない富士見市でしたが、ここで読む内容は、富士見市に住み始めてから、歴史から身近なことまで教えてくれる貴重な“場所”でした。

編集委員として携わらせていただいてからは、富士見市がより身近に感じてきました。これからも地域が発展していくように、公民館だよりを通じて、大人から子どもまで、みんなが手を止めて楽しい気持ちで読んでくれるような紙面にしたいと思います。

新井さんお気に入りの「わがまち点描」２選

下も向いて歩こう♪（2018年4月号）

なんじゃもんじゃの木（2018年5月号）

＜公民館だよりのバックナンバーがカラーで見られます！＞

■パソコンで

富士見市ホームページ＞窓口・施設案内＞生涯学習施設・集会所＞公民館＞施設利用・事業の中の公民館だより

■スマホで→

伊勢田さん

上杉さん

〈編集委員の皆さん〉

前列左から村川さん、小林さん、若山さん、新井さん
後列左から本多さん、児玉さん、編集長桑名さん、黒澤さん、担当職員山田（他に丸山さん）

公民館だより５００号を迎えて

編集長　桑名文男

行く川の流れは絶えずして、しかも元の水にあらず・・とか世の中は常に変動しております。そんな中で「つるせ公民館だより」は今まで寄稿していただいた方々、また歴代の編集委員の目配りと工夫の積み重ねによって５００号の発刊ができました。ありがとうございました。

世界も地域も自然の大変動もいろいろあると思いますが、地域への変わらぬ温かい気持ちで情報を提供し続けられますように願っております。

ここで作成の過程を一寸みてみると、「わがまち点描」の取材には新たな目で市内の配布エリアをくまなく観たり、写真を撮ったり、文章を書いています。

また「特集記事」のためにアイデアを出し合ったりしていますが、新たな記事を更に掘り起こしていかなければならない状況になっております。

今後ともよろしくご支援をお願いいたします。

つるせ公民館だより
祝　創刊５００号！

つるせ公民館だよりは、2022年10月号で創刊500号を迎えました。これも、地域の皆様にご支援、ご協力をいただいたおかげです。編集委員一同感謝しております。今回は、お祝いの言葉や「わがまち点描」の思い出など、公民館長、元編集委員の方、新しい編集委員、編集長からのメッセージを掲載いたします。

祝５００号

鶴瀬公民館長　中田正義

つるせ公民館だより５００号の発刊、誠におめでとうございます。

現在、発行されている「つるせ公民館だより」は、１９７６年（昭和51年）９月１日に産声を上げましたが、これまで長きにわたり発行を続けられたのも、編集委員の皆様をはじめ、取材や配付にご協力くださった皆様、そして、読者の皆様のおかげであると心から感謝申し上げます。

これからも、公民館だよりが地域の皆様に愛読され、単に学習情報の発信や地域のことを知るだけのものにとどまらず、人と人とをつなぎ、絆を深めるきっかけとなり、ひいては生活文化の振興、健康増進、社会福祉の増進等、個人の幸福とより良い地域づくりに役立つ情報紙として発行を重ねられるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

勿論（もちろん）、読んでいます「公民館だより」

宮﨑信夫さん（2007年～2017年まで編集委員。元編集長）

10年間携わった編集委員を辞してから５年になりますが、「公民館だより」は、今も欠かさず読んでいます。当時、最も悩ましかったのは、「何を特集で扱うか」でしたが、それは多分現在も変わりないのではと思います。

平成21年（2009年）にスタートした「わがまち点描」が、13年間も続いていることは驚きです。紙面がＡ３判２頁だてから現行のＡ４判４頁だてに変わったのを機に企画されたもので、せめて２年ぐらいは続けよう、という思いで始めたものでした。

コロナ禍、制約を受けながらの取材はさぞ大変とお察ししますが、編集委員の皆様には、めげずに奮闘されることを期待しています。

宮﨑さん執筆の「わがまち点描」２選

石段のある家（2009年1・2月合併号）

銭湯（2010年11月号）

公民館だよりを読んでのご感想やご意見をお寄せください。電話・ＦＡＸ・窓口でも受け付けています。